

令和 6 年 6 月 11 日現在

機関番号：13301

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18H00876

研究課題名（和文）社会主義経済体制下の中国農村における社会環境の特質と変容に関する再検討

研究課題名（英文）The Research of the Special Character on the Rural Society in China under the socialism economy system

研究代表者

弁納 才一（BENNO, SAICHI）

金沢大学・国際学系・教授

研究者番号：90272939

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,000,000円

研究成果の概要（和文）：近代中国農村の特質について社会環境の観点から国内外で議論と研究を進めてきたと同時に、社会中国大陸及び台湾の農村を複数回にわたって訪問して共同聞き取り調査を実施した。その成果を逐次、農村調査報告書として学術雑誌に発表してきた。2022年～2023年にはそれらを3冊の農村訪問調査報告書として刊行した。また、各自が数多くの研究論文を発表し、数冊の著書を刊行した。

以上の共同調査研究の結果として、近現代における中国大陸と台湾の農村社会では村落内における人的結合関係の多様性と柔軟性の高さや村境を超えた労働力・商品・資金・技術・情報などの流動性の高さが経済発展を支えていたことを明らかにすることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

農村訪問調査を取り巻く環境が年々厳しさを増す中国大陸において、共同の聞き取り調査を実施することができたこと自体が極めて稀少かつ重要な研究的意味を持っている。そして、頻繁な中国農村訪問聞き取り調査を通してまとめら上げられた中国農村訪問調査報告書の刊行は、既存の文献資料とともに今後の近現代中国農村史研究にとって貴重な史料となる。また、学術論文の発表や学術図書刊行を通して新たな近現代中国農村社会史像の構築に大きく貢献した。

研究成果の概要（英文）： We have studied a special character of the rural society in modern China, and We discussed in the country or overseas. At the same time, we repeated to visit the villages of China and Taiwan for interview and research. As a result of research, we published the three books on the interview of the villages in 2022 and 2023 year. We could clear that the special character of the rural society in modern china is the diversity and the flexibility on the relationship of personal combination in a village, and is the liquidity on labor power, commodity, money, technology, information over the border of the village.

研究分野：近現代中国農村社会経済史

キーワード：中国農村社会

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 中国経済の飛躍的発展

2010年にGDPにおいて日本を追い抜いて世界第2位となり、アメリカに次ぐ経済大国として存在感を急速に高めてきている中国の動態を正確に理解する必要性は年々高まってきている。だが、これまでの研究・分析の多くは中国の各級政府が発表するデータに基づく動向分析であり、基層社会である農村に対する関心は相対的に低いと言わざるを得ない。一方、中国農村に関する分析・考察の多くは文化人類学や社会学の観点から行われる現状分析に止まっており、中長期的な視野に基づく歴史学的な観点から組織的かつ本格的な訪問聞き取り調査が実施されたものは少ない。

(2) 中国の近代工業化の特徴

1949年に中華人民共和国が成立し、1953年から社会主義経済が導入されたものの、1979年の改革開放政策(資本主義経済)採用以降、社会主義体制時期は全面的に否定され、1979年前後の断絶性が強調された。だが、21世紀「世界の工場」と呼ばれるようになった中国の急速な経済発展の基礎が1979年以前の社会主義経済体制下の農村で形成されていた点からすると、1979年前後の中国経済にはむしろ連続性を見出すことができる。すなわち、1979年以降の急速な経済発展は、人民公社の社隊企業(公有制企業)が名称を変更した郷鎮企業(公有制企業)の発展によるところが大きく、やがてその郷鎮企業が国有企業に代わって中国工業の中軸的存在となった。このように、中国の工業化とは主要には農村地域における工業化だったとすることができる。

(3) 中国型資本主義の特質

中国の急速な資本主義的発展の特質について正確に理解するためには、中国農村社会経済の実態に対する再検討が必要不可欠である。そして、このような中国型資本主義を単に欧米型資本主義に対置するのではなく、近年、急速な経済発展を遂げつつあるアジアの資本主義経済の特質を究明するためのヒントとするべきである。

2. 研究の目的

(1) 近現代中国農村における資本主義的経済発展を再定義する。

華北農村を事例として中国資本主義経済の発展について捉え直し、再定義する。それは、「資本主義経済」対「社会主義経済」という二律背反的な見方を超克することにもつながる。1953～78年の広義の資本主義的経済発展の一部を構成し、あるいは1979年以降の資本主義経済導入への連続性を内包していた。この点について、訪問聞き取り調査を実施した農村の具体的な事例を挙げながら明らかにする。

(2) 近現代華北農村社会の変動とともにその連続性も明らかにする。

従来、華北の農村社会は、1945年の抗日戦争勝利・1949年の中華人民共和国成立・1979年の改革開放路線(市場経済)採用において大転換したと見なされてきた。だが、本研究では、断絶性よりも連続性を再検証し、農村社会環境の継承と変容によって、中国農村経済がいかに変動あるいは連続していたのかを見出すことができるのであり、これが中国型資本主義経済の特徴となっていることを明らかにする。

(3) 新たな近現代華北農村社会経済史像を構築する。

本研究代表者などによる従来の実証史学研究や農村訪問聞き取り調査を通じて、1949年以前における中国農村社会の特質は、村落内における人的結合関係の多様性と柔軟性の高さや村境を超えた労働力・商品・資金・技術・情報などの流動性の高さにあるという見通しを持つに至った。このような見通しの上に、さらに新たな文献資料を収集・利用するとともに、これまでの農村調査による経験と知見を活かして聞き取り調査を深化させることによって、日本農村と比べて凝集力が弱い故に農業経済が後進的だったというイメージとは大きく異なる、新たな中国農村社会経済史像を構築していく。

3. 研究の方法

(1) 分析の枠組及び対象の拡大と新たな視点の提示

分析の枠組を農業経済から農業・手工業・商業などを含む農村経済へ拡大する。

分析の対象を狭義の経済から社会環境を中心とする社会経済へ拡大する。

都市経済と農村経済を対立的ないし二重構造的に捉える視点からその連続性に着目する視点へ転換する。

社会経済発展の指標を数量重視から質重視へ転換する。

農村経済発展を農業生産性向上の重視する視点から零細農化・脱農化・都市化の進行であるという視点へ転換する。

(2) 農村訪問聞き取り調査の実施

東北農村調査

調査農村：吉林省吉林市前二道郷Z村・四平市伊通満族自治县景台鎮X窩、
遼寧省鉄嶺市西豊県楽善郷L村

調査時期：2018年8月、2019年9月

華北農村調査

調査農村：山西省呂梁市交城県夏家営鎮段村、山西省靈石県南関鎮溝峪灘村・静昇鎮椒仲村、
山西省霍州市義旺村・大張鎮賈村、洪洞県興唐寺郷杏溝村、
天津市静海県馮家村

調査時期：2018年9月、2019年9月

華中農村調査

調査農村：湖南省岳陽市平江県伍市鎮S村・T村

調査時期：2018年10月、2019年10月

華東農村調査

調査農村：江蘇省太倉市沙溪鎮泰西村、

江蘇省無錫市濱湖区馬山街道万豊村・湖埭鎮馬鞍村・栄巷鎮小丁巷

浙江省嘉興市秀洲区新塍鎮潘家浜村・天福村

調査時期：2018年5月・10月、2019年3月・12月

台湾農村調査

調査農村：台中市南投県鹿谷郷秀峰村

調査時期：2023年11月、2024年3月

(3) 海外の研究機関との連携共同研究

対面

2019年12月までは中国農村訪問聞き取り調査を実施することができたので、中国側の研究機関などは直接対面で共同調査研究と意見交換をすることができた。

オンライン

2020年からはコロナ禍によって中国へ渡航することができなくなり、中国側とはオンラインとメールを利用して連絡を取り合っていたが、2020年度～2022年度は農村訪問聞き取り調査と対面での意見交換ができなくなった。そこで、2022年3月からは台湾の中央研究院台湾史研究所との間でオンラインによる意見交換・学术交流を重ね、台湾農村訪問聞き取り調査を模索し続けた結果、上述のように、2023年11月と2024年3月に台湾農村共同調査を実施することができた。

4. 研究成果

(1) 文献資料調査による学術論文・学術図書の発表・刊行

論文（全て単著）

近現代中国史に関する論文を多数発表した。すなわち、弁納オーが7篇（査読有り3篇）、祁建民が26篇（査読有り17篇）、田中比呂志が3篇（査読有り2篇）、古泉達矢が6篇（査読有り5篇）、佐藤淳平が2篇（査読有り1篇）、前野清太郎が4篇（査読有り3篇）、菅野智博が2篇（査読有り1篇）の計50篇（査読有り計32篇）となっている。

著書

数冊の単著・共著を刊行した。すなわち、弁納オーが4冊（単著1冊）、祁建民が1冊、田中比呂志が6冊、古泉達矢が3冊、佐藤淳平が2冊（単著1冊）、前野清太郎が4冊（単著2冊）、菅野智博が2冊の計18冊（単著計4冊）となっている。

(2) 農村訪問聞き取り調査による成果の発表

中国農村訪問聞き取り調査報告を多数発表した。すなわち、弁納オーが11篇、祁建民が2篇、田中比呂志が4篇、古泉達矢が3篇、佐藤淳平が1篇の計21篇となっている。

(3) その他の研究業績

論文・著書・農村調査報告の他に、書評・邦訳・紹介なども多数発表している。すなわち、弁納オーが1篇、古泉達矢が4篇、佐藤淳平が3篇、前野清太郎が1篇、菅野智博が9篇の計18篇となっている。

(4) 学会等における発表・講演

弁納オー

2018年10月13日（東京、報告）、2018年10月22日（湖北省武漢市、招聘講演）、2018年10月25日（上海市、招聘講演）、2019年3月30日（上海市、報告）、2023年3月4日（東京、報告）の計5回。

田中比呂志

2019年1月3日（上海市、講演）、2019年2月23日（名古屋市、講演）、2019年10月（東京、報告）、2021年11月28日（東京、報告）の計4回。

古泉達矢

2019年6月21日（台北市、招聘講演）、2019年3月30日（上海市、招聘講演）、2021年12月12日（オンライン、招聘講演）、2021年12月5日（オンライン、招聘講演）、2023年2月27日（金沢市、招聘講演）、2023年11月2日（福岡市、報告）、2024年3月15日（シアトル、報告）の計7回。

佐藤淳平

2020年11月5日（オンライン、講演）、2021年12月18日（オンライン、報告）、2022年8月23日（オンライン、報告）の計3回。

前野清太郎

2020年12月(オンライン、報告)、2021年12月(台北市、報告)、2022年2月(那覇市、報告)の計3回。

菅野智博

2021年12月11日(オンライン、発表)、2021年12月25日(オンライン、発表)の計2回。

(5)新たな近現代中国農村社会経済史像の構築

近現代中国農村社会の特徴は、村落内における人的結合関係の多様性と柔軟性の高さや村境を超えた労働力・商品・資金・技術・情報などの流動性の高さにある。そして、中国農村社会では、日本のような一元的で強固な凝集・結集ではなく、多層的でしなやかな結集という特徴を有しているが故に、環境の変化に応じて柔軟に対応することができたと考えられる。

(6)国際連携共同研究の推進

中国大陸では山西大学中国社会史研究中心・南開大学歴史学院・華東師範大学社会発展学院及び江蘇省無錫市政府研究室・無錫市濱湖区政府秘書室、一方、台湾では中央研究院台湾史研究所・近代史研究所などと共同で農村訪問聞き取り調査を実施するとともに、学术交流を行ってきた。

(7)研究成果の蓄積・継承と若手研究者の育成

以上のように、本研究代表者及び本研究分担者の研究成果は着実かつ十分に蓄積され、共同調査研究や議論を通して本研究分担者の若手研究者にも着実に継承されてきた。すなわち、本研究分担者のうち、若手研究者(佐藤淳平、前野清太郎、菅野智博)が2020年・2024年1月・2025年(2月刊行予定)にこれまでの研究成果をまとめ、主に博士学位取得論文を基にして単著を刊行している。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計35件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第20号
2. 論文標題 華中農村訪問調査報告書（3） - 2019年10月、湖南省の農村	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中国研究論叢	6. 最初と最後の頁 89-102
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第41巻第2号
2. 論文標題 華東農村訪問調査報告書（15） - 2019年12月、江蘇省無錫市の農村	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 157-173
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 第1号
2. 論文標題 水環境問題から見た中国の政治構造	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東アジア評論	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 第1期
2. 論文標題 日本戦時動員と村落共同体関係研究の学術史回顧	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 南開史学	6. 最初と最後の頁 213-238
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 第5期
2. 論文標題 戦時日本の中国農村調査と華北日軍の占領政策	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会科学輯刊	6. 最初と最後の頁 170-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 第842号
2. 論文標題 清末民初における国家と個人・地域 - 国家建設と地域社会・個人	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 57 - 69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第19号
2. 論文標題 華中農村訪問調査報告(2) - 2018年10月、湖南省の農村	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国研究論叢	6. 最初と最後の頁 67 - 80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第40巻第1号
2. 論文標題 華東農村訪問調査報告(13) - 2018年5月・10月、江蘇省の農村	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 55 - 72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第51号
2. 論文標題 日中全面戦争時期山東省2ヶ村における経済の発展 - 安邱県卞山荘を例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本海域研究	6. 最初と最後の頁 19 - 38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第40巻第2号
2. 論文標題 華東農村訪問調査報告(14) - 2019年3月、浙江省嘉興市の農村	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 未確認
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第40巻第2号
2. 論文標題 華北農村訪問調査報告(15) - 2019年9月、山西省・甘粛省の農村	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 未確認
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 2019年特別号
2. 論文標題 等差与親情 - 「礼」的原理再論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東亜漢学研究	6. 最初と最後の頁 102 - 109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 2019年第2期
2. 論文標題 日本の中共革命根拠地史研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 抗日戦争研究	6. 最初と最後の頁 114 - 133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 2019年第6期
2. 論文標題 従日本『防共回廊』計画看中共大青山遊撃根拠地的戦略意義	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中共党史研究	6. 最初と最後の頁 13 - 26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 第9号
2. 論文標題 1960年代農村幹部的『階級』話語	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東亜漢学研究	6. 最初と最後の頁 15 - 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 2019年第6期
2. 論文標題 別一種辺陲：晋冀蒙交界地区的移民社会	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 内蒙古師範大学学报	6. 最初と最後の頁 81 - 92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 第12号
2. 論文標題 中国における水質汚染問題と日中環境協力	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東アジア評論	6. 最初と最後の頁 1 - 14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 第12号
2. 論文標題 中国における伝統的な水利『共同関係』とその変容	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東アジア評論	6. 最初と最後の頁 15 - 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民・佐藤淳平	4. 巻 第4号
2. 論文標題 中国内陸農村訪問報告書(10)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 長崎県立大学国際社会学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 25 - 32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 71集
2. 論文標題 華北農村訪問調査(8)付東北農村訪問調査 - 2017年9月山西省L県J鎮J村、吉林省J市Q郷Z村、S市Y県S窩	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(人文社会科学)	6. 最初と最後の頁 139 - 144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢・張晶晶・胡平江・田中比呂志	4. 巻 第51号
2. 論文標題 華中農村訪問調査(1) - 2018年10月、2019年10月、湖南省 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本海域研究	6. 最初と最後の頁 57 - 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第18号
2. 論文標題 華中農村訪問調査報告(1) - 2016年10月・2017年6月、湖北省の農村	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国研究論叢	6. 最初と最後の頁 55-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第39巻第1号
2. 論文標題 華東農村訪問調査報告(12) - 2017年5月、2018年3月・5月、台湾・上海市・江蘇省	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 95-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第50号
2. 論文標題 華北農村訪問調査報告(13) - 2017年9月、山西省	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本海域研究	6. 最初と最後の頁 45-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第50号
2. 論文標題 日中戦争時期における山東省3ヶ村の経済発展に関する分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本海域研究	6. 最初と最後の頁 7-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第39巻第2号
2. 論文標題 東北農村訪問調査報告(1) - 2018年8月、吉林省・遼寧省 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 221-236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 第39巻第2号
2. 論文標題 華北農村訪問調査報告(14) - 2018年9月、天津市・山西省	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 201-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 第8号
2. 論文標題 毛沢東の階級画分戦略与中国伝統社会結構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東亜漢学研究	6. 最初と最後の頁 100-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 第3号
2. 論文標題 階級觀念下的農村宗族問題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 長崎県立大学国際社会学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 45-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山雅生・祁建民	4. 巻 第3号
2. 論文標題 中国内陸農村訪問調査報告(9)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 長崎県立大学国際社会学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 39-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢・盧qun・席金花・田中比呂志	4. 巻 第61巻第2号
2. 論文標題 華北内陸農村調査報告(1) - 2917年9月・2018年9月山西省J鎮J村、L県N鎮G村	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 金沢法学	6. 最初と最後の頁 269-286
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢	4. 巻 第969号
2. 論文標題 香港返還20年 - 近現代史からの視点	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 47-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢	4. 巻 第22号
2. 論文標題 第一次世界大戦期の華工送出と威海衛当地問題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東アジア近代史	6. 最初と最後の頁 49-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 第70集
2. 論文標題 彼は如何にして正されたのか? - 四清運動期のある農村幹部の取り締まりと信仰歴	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要 (人文社会科学系)	6. 最初と最後の頁 93-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 第826号
2. 論文標題 書評: 宮古文尋著 『清末政治史の再構成』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 99-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計9件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 2件)

1. 発表者名 佐藤淳平
2. 発表標題 中国・アジア経済の歴史的展望
3. 学会等名 東京大学現代中国研究拠点オンラインセミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 近現代中国における国家と個人・地域
3. 学会等名 歴史科学協議会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 1920-21年の華北大干魃と威海衛
3. 学会等名 台湾師範大学（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 弁納才一
2. 発表標題 近現代華北農村における経済発展と脱農化・都市化
3. 学会等名 華中師範大学中国農村研究院（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 弁納才一
2. 発表標題 近代中国農村の三層的経済構造
3. 学会等名 華東師範大学社会発展学院（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 弁納才一
2. 発表標題 21世紀初頭日本における中華民国期中国農村社会經濟史に関する3つの捉え方
3. 学会等名 華東師範大学社会發展学院「中日快速工業化時期的城鄉關係和可持續發展」(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 1920-21年の華北における旱魃について：威海衛における救荒政策を中心として
3. 学会等名 華東師範大学社会發展学院「中日快速工業化時期的城鄉關係和可持續發展」(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 日本人は何故「空気」を読もうとするのか - 近世期の日本社会と中国社会との比較から見えてくるもの
3. 学会等名 華東師範大学社会發展学院
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 日本人の同時代中国認識 - 宇治田直義を中心として
3. 学会等名 南山大学アジア・太平洋センターワークショップ
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 弁納才一	4. 発行年 2020年
2. 出版社 風行社	5. 総ページ数 226
3. 書名 国際学入門 - 異文化との共生に向けて [第三版]	

1. 著者名 弁納才一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東洋文庫	5. 総ページ数 406
3. 書名 日本の華中・華南調査	

1. 著者名 祁建民	4. 発行年 2020年
2. 出版社 商務印書館	5. 総ページ数 319
3. 書名 自治与他治：近代華北農村の社会和水利秩序	

1. 著者名 田中比呂志	4. 発行年 2020年
2. 出版社 研文出版	5. 総ページ数 210
3. 書名 大国化する中国の歴史と向き合う	

1. 著者名 田中比呂志	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東洋文庫	5. 総ページ数 406
3. 書名 日本の華中・華南調査	

1. 著者名 佐藤淳平	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版社	5. 総ページ数 221
3. 書名 近代中国財政史：「外省」から「地方」へ	

1. 著者名 弁納才一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 235
3. 書名 近代中国の食糧事情 - 食糧の生産・流通・消費と農村経済	

1. 著者名 弁納才一・祁建民・田中比呂志ほか	4. 発行年 2018年
2. 出版社 御茶の水書房	5. 総ページ数 263
3. 書名 中国農村社会の歴史的展開 - 社会の変動と新たな凝集力	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	佐藤 淳平 (SATO JUNPEI) (50792496)	岡山大学・社会文化科学学域・准教授 (15301)	
研究分担者	菅野 智博 (KANNO TOMOHIRO) (60827814)	慶應義塾大学・経済学部(日吉)・准教授 (32612)	
研究分担者	祁 建民 (KI KENMIN) (70448819)	長崎県立大学・国際社会学部・教授 (27301)	
研究分担者	前野 清太郎 (MAENO SEITARO) (70844819)	上智大学・基盤教育センター・助教 (32621)	
研究分担者	田中 比呂志 (TANAKA HIROSHI) (90269572)	東京学芸大学・教育学研究科・教授 (12604)	
研究分担者	古泉 達矢 (KOIZUMI TATSUYA) (90724831)	金沢大学・法学系・教授 (13301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------